



区分	科目名	専副	単位数		毎週授業時間数								備考	教職課程					
			建築		建設		1年		2年		3年			4年		工業	理科		
			必修	選択	必修	選択	前	後	前	後	前	後		前	後				
専門教育科目	建築学	骨組力学		2														物理	
		建築耐震工学		3							3								物理
		建築基礎工学		2								2							地学
		建築施工	☆	2								2							
	構造系	構造力学第三及び演習		3	3				4	4									物理
		鉄筋コンクリート構造及び演習		3	3					4	4								工業
		鋼構造及び演習		3	3							4	4						工業
		構造材料実験		1	1							3	3						工業
	建設工学	構造設計演習				2					4								工業
		地震工学	☆			2						2							地学
		地盤工学第一			2					2									地学
		地盤工学第二及び演習				3						4							地学
		建設施工法	☆			2							2						工業
		水理学第一			2					2									物理
		水理学実験				1						3							物理
		水理学第二				2							2						物理
	4年	水文学				2										2			地学
	建築学	近代建築史	☆		2					2									工業
		建築設計演習第一		4						8									工業
		建築設計演習第二		4							8								工業
		建築設計演習第三		4								8							工業
		造形演習第一			2				4										
		造形演習第二			2						4								
		建築計画各論第二			2							2							工業
		建築意匠論			2								2						工業
		建築環境工学第二			2								2						工業
		建築計画各論第一	☆	2		2				2	2								工業
	共通	建築法規		2		2							2	2					
		建築設備		2		2							2	2					
		建築環境工学第一		2		2				2	2								工業
地域計画		☆	2	2	2				2	2								工業	
計画数理		☆	2	2						2	2							工業	
居住地計画		☆	2	2							2	2						工業	
都市計画設計演習					4					8								工業	
建設工学	測量学第二及び演習				3						4							工業	
	都市計画設計				4						4							工業	
	建設工学設計演習				2							4						工業	
	都市デザイン	☆			2						2							工業	
	交通計画	☆			2							2						工業	
4年	庭園学			2										2					
国際開発及び援助論				2											2			工業	
専門科目小計			21	38	18	43			24	22	29	31	25	21	2	4			
卒業論文又は卒業計画			8	8															
専門教育科目小計			65	87	62	92	18	28	27	30	28	35	37	31	27	4	6		
総計			103	87	100	92	36	40	37	40	38	41	43	37	33	4	6		

☆ 建築建設工学副専攻

## 建築建設工学科卒業要件，卒論着手要件を満たす単位の条件

### 1. 卒業要件

次の要件イ，ロ，ハを併せて130単位以上を修得しなければ卒業できない。

#### 建築学コース

イ．共通教育科目38単位

ロ．専門教育科目の必修科目65単位

ハ．専門教育科目の選択科目27単位以上（専門基礎科目2単位以上，専門基礎共通科目及び専門科目25単位以上（鉄筋コンクリート構造及び演習，鋼構造及び演習の中から計3単位以上を含む。））

#### 建設工学コース

イ．共通教育科目38単位

ロ．専門教育科目の必修科目62単位

ハ．専門教育科目の選択科目30単位以上（専門基礎科目2単位以上，専門基礎共通科目及び専門科目28単位以上）

ただし，他コースおよび工学部他学科開講専門科目は，次の条件の下で，建築学コースにおいては6単位，建設工学コースにおいては3単位を専門教育科目の選択科目として卒業に必要な単位の算入できる。条件は，当コースまたは当学科の専門教育課程表にないこと，専門教育・副専攻科目として履修していないこと，担当教員の承認を得ること，及び同名の科目は1科目のみであることである。

### 2. 卒業研究着手要件

次の要件イ，ロ，ハ，ニを併せて110単位以上を修得しなければ卒業研究に着手できない。

#### 建築学コース

イ．卒業に必要な共通教育科目38単位のうち34単位以上

ロ．専門基礎科目の必修科目14単位

ハ．専門基礎共通科目の構造系科目計18単位から15単位（必修科目12単位以上を含む。），計画系科目計14単位から12単位（必修科目8単位を含む。）の合計27単位を修得すること。

ニ．専門科目の構造系における共通及び建築学科目計19単位から13単位（必修科目3単位以上を含む。），計画系における共通及び建築学科目計38単位から22単位（必修科目14単位以上を含む。）の合計35単位を修得すること。

#### 建設工学コース

イ．卒業に必要な共通教育科目38単位のうち34単位以上

ロ．専門基礎科目の必修科目14単位

ハ．専門基礎共通科目の構造系科目計18単位から15単位（必修科目12単位以上を含む。），計画系科目計14単位から10単位（必修科目8単位を含む。）の合計25単位を修得すること。

ニ．専門科目の構造系における共通及び建設工学科目計26単位から17単位（必修科目7単位以上を含む。），計画系における共通及び建設工学科目計31単位から20単位（必修科目11単位以上を含む。）の合計37単位を修得すること。

なお，上記1のただし書きは，卒業研究着手要件においても同様に適用する。

### 3. その他

イ．専門基礎科目における選択科目を2単位以上単位修得した場合は，専門基礎科目としての1科目以外の科目を専門科目として，1.のただし書きに示した範囲（建築学コース6単位，建設工学コース3単位）内で，卒業及び卒業研究着手に必要な単位の算入できる。

ロ．留学生対象科目（工業日本語Ⅰ～Ⅳ及び日本の工学と技術）は，留学生にのみ開講される。留学生が専門基礎科目「工業日本語Ⅰ」～「工業日本語Ⅳ」の単位を修得した場合，1.のただし書きに示した範囲（建築学コース6単位，建設工学コース3単位）内で，専門科目として卒業及び卒業研究着手に必要な単位の算入できる。

ハ．設計演習基礎第一，同第二，建築設計演習第一，同第二，同第三，都市計画設計，同演習，建設工学設計演習については，担当教員の許可無しに同時に2科目を履修できない。

ニ．教職免許のために開講されている科目（教育職員免許取得関係授業科目表（全学科対象）参照）の単位は卒業単位数には算入しない。

ホ．海外短期インターンシップⅠ～Ⅵについては，合計4単位まで卒業及び卒業研究着手に必要な単位の算入できる。

ただし，以下の場合は，卒業要件及び卒業研究着手要件の単位に含めることができない。

(1) 卒業見込者（卒業判定に係る年度）の春季休業期間に実施する海外短期インターンシップ

(2) 卒業研究着手見込者（卒業研究着手判定に係る年度）の春季休業期間に実施する海外短期インターンシップ